

## 令和4(2022)年度第1回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会の結果概要について

栃木県農政部

- 1 開催日時 令和4(2022)年6月21日(火) 13:30~15:45
- 2 開催場所 栃木県庁昭和館多目的室4
- 3 出席者 栃木県農村地域資源保全向上対策委員会委員5名  
組織関係者5名  
県関係者5名

### 4 内 容

#### (1) 議題

多面的機能支払、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払交付金の令和3(2021)年度の実施状況及び令和4(2022)年度の取組方針について

#### (2) 意見交換

多面的機能支払及び中山間地域等直接支払の地域組織との意見交換

### 5 結果概要

県内における多面的機能支払、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払交付金の令和3(2021)年度の実施状況及び令和4(2022)年度の取組方針について事務局から説明し、各委員から意見等をいただいた。

また、多面的機能支払に取り組む<sup>さるうち</sup>申内環境保全会及び中山間地域等直接支払に取り組む那珂川町中山間地域活性化協議会の方々を招き、意見交換を実施した。

### <主な意見等の内容>

#### (1) 議題

##### ○多面的機能支払交付金

- ・小学校との連携の推進について、すでに取り組んでいる地区の良いところを更に深掘りしていく必要がある。
- ・また、制度の枠組に無理に当てはめようとするのではなく、時代に合わせて幅広に検討していくことが重要である。
- ・都市部との連携について、取組の対象はまずは地元で進め、機会があれば外へと範囲を広げていくというイメージが良い。

##### ○中山間地域等直接支払交付金

- ・制度が複雑化しており、書類作成の負担が増加してきているため、簡略化できるところは簡略化するよう検討して欲しい。

##### ○環境保全型農業直接支払交付金

※特に意見等はなし。

## (2) 意見交換

### ○地域組織の特徴

- ・<sup>ざるうち</sup>申内環境保全会：女性を中心に組織を設立し、子ども会や社会福祉法人等と連携し、農業体験や生きもの調査、どんど焼きなど、様々な共同活動を実施している。活動に参加しやすい雰囲気が醸成されており、非農家の活動参画も進んでいる。
- ・那珂川町中山間地域活性化協議会：事務負担を軽減するために、広域化を実現している。棚田振興法の活用により地域外との交流活動が行われるなど、地域の活性化に取り組んでいる。また、農作業の省力化に向け、ドローンや草刈機など共同利用機械を導入している。

### ○意見交換

- ・両組織とも非常に素晴らしい活動を実施している。ほかの組織全てに普及することは難しいかもしれないが、参考となるエッセンスを、各組織の負担にならずに広げていけるような取組を期待したい。